



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 株式会社 マツモトキヨシホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松本南海雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 小松栄二

TEL 047-344-5110

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	326,511	1.3	13,288	24.3	14,538	20.0	6,998	80.9
23年3月期第3四半期	322,202	8.2	10,689	△8.0	12,117	△7.9	3,869	△45.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 7,408百万円 (91.5%) 23年3月期第3四半期 3,868百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	149.28	127.28
23年3月期第3四半期	80.39	74.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	217,649	112,331	50.9
23年3月期	217,661	109,987	49.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 110,759百万円 23年3月期 108,422百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
24年3月期	—	10.00	—		
24年3月期(予想)				30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成23年3月期 期末配当30円00銭には、記念配当(株式上場20周年記念)10円00銭が含まれております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	5.1	16,600	7.2	18,400	5.2	8,900	22.1	184.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	53,579,014 株	23年3月期	53,579,014 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	7,132,905 株	23年3月期	5,440,314 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	46,878,977 株	23年3月期3Q	48,137,181 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11
4. 補足情報	12
売上及び仕入の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）における日本経済の状況は、東日本大震災による影響が引き続き見られるものの、復旧・復興に向けた需要の拡大もあり経済活動や個人消費は一部で持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、欧州の金融不安・米国の景気減速のほか、それらに伴う円高の進行・株価の下落、タイの洪水被害による製造業の生産活動停止など、景気が下振れする懸念も存在し、先行きは予断を許さない状況で推移しました。

ドラッグストア業界におきましては、震災の影響による生活用品や節電対応に伴う関連商材の需要が増加するなど堅調に推移したものの、雇用情勢の悪化や所得に対する不安など、先行き不透明な状況から、依然として消費マインドの冷え込みが継続しております。

このような環境のなか、当社グループは厳しい環境下においても安定して利益を創出できる収益基盤を確立すべく、3つの重点施策（①ドラッグストア事業の抜本的な収益改善 ②収益構造改革 ③人材育成と組織の活性化）に取り組むことで、営業力強化と経営効率の改善に努めてまいりました。

営業活動におきましては、効率的かつ効果的な販促策の実行、お客様ニーズ・地域環境を反映したMKカスタマー（プライベートブランド商品）を含めた品揃えの拡充や専門人材によるカウンセリング体制の強化など、顧客満足度の向上と共に、常に新しい付加価値の創出と心のこもったサービスの提供を推進してまいりました。

新規出店に関しましては、関東地域を中心にグループとして68店舗を出店しました。また、更なるお客様ニーズの取り込み、環境変化への対応、既存店舗の活性化を重点に78店舗で改装を実施し、スクラップ＆ビルドを含め将来業績に貢献の見込めない31店舗を閉鎖いたしました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末におけるグループ店舗数は、1,250店舗となり前連結会計年度末と比較して37店舗増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、売上高3,265億11百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益132億88百万円（同24.3%増）、経常利益145億38百万円（同20.0%増）、四半期純利益69億98百万円（同80.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業の第1四半期連結会計期間は、花粉飛散量の増加に伴う関連商材の伸長、夏の節電需要に対応した冷却商材・制汗剤及びシーズン商品の販売増加など、好調に推移いたしました。第2四半期連結会計期間は、6月から引き続き、節電需要に対応した関連商材や気温上昇に伴う熱中症対策商品が好調に推移した一方、8月の気温・天候要件から夏後半におけるシーズン商品の不振などにより苦戦を強いられました。第3四半期連結会計期間におきましては、10月下旬から11月下旬までの約1ヶ月間は昨年よりも高温で推移したため、期初から順調な動向を示していたシーズン商品の販売が鈍化しましたが、12月に入り低温傾向となったことから、総合感冒薬やマスク、使い捨てカイロや暖房小物、スキンケア商品などのシーズン商品が好調に推移し、調剤併設店舗及び処方箋枚数の増加に伴い調剤売上も増加しました。しかし、関西や九州エリアなどでは戻りつつあるものの、震災の影響に伴うアジア地域からの観光客の減少は、いまだ首都圏を中心とする都市型店舗で影響を受ける結果となりました。

<卸売事業>

卸売事業は、前期におけるF C契約並びに既存契約企業の新規出店に対する商品供給など、堅調に推移しております。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は3,079億14百万円（前年同期比1.7%増）、卸売事業162億66百万円（同4.3%減）、管理サポート事業23億30百万円（同3.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期連結会計期間末における資産合計は2,176億49百万円となり、前連結会計年度末に比べて11百万円減少いたしました。主な要因は、商品が31億30百万円増加したものの、貯蔵品が12億38百万円減少したことによるものです。

当第 3 四半期連結会計期間末における負債合計は1,053億17百万円となり、前連結会計年度末に比べて23億56百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が53億19百万円増加したものの、短期借入金が46億円、未払法人税等が13億 5 百万円、賞与引当金が12億13百万円、それぞれ減少したことによるものです。

当第 3 四半期連結会計期間末における純資産合計は1,123億31百万円となり、前連結会計年度末に比べて23億44百万円増加いたしました。主な要因は、自己株式29億95百万円の増加や、剰余金の配当19億 8 百万円による減少があったものの、四半期純利益69億98百万円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年 3 月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月11日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率が変更になり、繰延税金資産が392百万円、繰延税金負債が42百万円それぞれ減少し、四半期純利益は357百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,542	9,674
受取手形及び売掛金	11,643	12,476
商品	57,342	60,473
貯蔵品	1,775	536
その他	13,500	13,261
貸倒引当金	△140	△291
流動資産合計	94,665	96,131
固定資産		
有形固定資産		
土地	41,488	41,126
その他	21,417	21,533
有形固定資産合計	62,906	62,660
無形固定資産		
のれん	7,024	6,535
その他	3,115	2,838
無形固定資産合計	10,140	9,374
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,541	35,234
その他	15,408	15,219
貸倒引当金	△999	△970
投資その他の資産合計	49,949	49,483
固定資産合計	122,995	121,517
資産合計	217,661	217,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,812	60,131
短期借入金	6,400	1,800
1年内返済予定の長期借入金	372	372
未払法人税等	3,437	2,132
賞与引当金	2,635	1,422
ポイント引当金	2,122	2,685
資産除去債務	4	22
その他	10,669	9,965
流動負債合計	80,454	78,532
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	15,000	15,000
長期借入金	752	473
退職給付引当金	846	909
資産除去債務	3,338	3,424
その他	7,282	6,977
固定負債合計	27,219	26,785
負債合計	107,673	105,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,086	21,086
資本剰余金	21,866	21,866
利益剰余金	80,289	85,376
自己株式	△13,757	△16,753
株主資本合計	109,483	111,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,061	△815
その他の包括利益累計額合計	△1,061	△815
新株予約権	8	14
少数株主持分	1,555	1,557
純資産合計	109,987	112,331
負債純資産合計	217,661	217,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	322, 202	326, 511
売上原価	233, 392	235, 166
売上総利益	88, 809	91, 344
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	1, 278	562
給料及び手当	27, 826	29, 035
賞与引当金繰入額	1, 384	1, 436
退職給付費用	1, 009	582
地代家賃	16, 566	17, 244
その他	30, 055	29, 193
販売費及び一般管理費合計	78, 119	78, 055
営業利益	10, 689	13, 288
営業外収益		
受取利息	161	154
受取配当金	136	230
固定資産受贈益	358	268
発注処理手数料	344	373
その他	848	334
営業外収益合計	1, 850	1, 361
営業外費用		
支払利息	150	59
貸倒引当金繰入額	102	—
持分法による投資損失	78	17
その他	90	34
営業外費用合計	422	111
経常利益	12, 117	14, 538

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	10	22
貸倒引当金戻入額	104	—
段階取得に係る差益	116	—
その他	13	0
特別利益合計	244	22
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	292	147
店舗閉鎖損失	130	182
減損損失	989	749
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,314	—
災害による損失	—	16
その他	169	137
特別損失合計	3,895	1,236
税金等調整前四半期純利益	8,466	13,324
法人税、住民税及び事業税	5,020	5,369
法人税等調整額	△555	807
法人税等合計	4,465	6,177
少数株主損益調整前四半期純利益	4,001	7,147
少数株主利益	131	149
四半期純利益	3,869	6,998

(四半期連結包括利益計算書)
(第 3 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,001	7,147
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△132	260
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△132	260
四半期包括利益	3,868	7,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,730	7,243
少数株主に係る四半期包括利益	138	165

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

① 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

イ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	194,247	108,538	964	16,029	2,422	322,202	—	322,202
セグメント間の 内部売上高又は振替高	21	0	215,297	37,629	8,967	261,916	△261,916	—
計	194,269	108,538	216,261	53,659	11,389	584,118	△261,916	322,202
セグメント利益	8,248	1,367	142	260	1,031	11,050	△360	10,689

(注) 1. セグメント利益の調整額△360百万円には、のれんの償却額△561百万円及びセグメント間取引消去200百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ロ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額989百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で488百万円、「その他小売事業」で374百万円、「管理サポート事業」で165百万円となり、連結決算における消去・調整で△38百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

② 当第 3 四半期連結累計期間（自平成23年 4 月 1 日 至平成23年12月31日）

イ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	196,000	111,913	418	15,848	2,330	326,511	－	326,511
セグメント間の 内部売上高又は振替高	23	0	217,398	39,199	8,061	264,682	△264,682	－
計	196,024	111,913	217,816	55,047	10,391	591,194	△264,682	326,511
セグメント利益	9,548	2,936	569	109	479	13,643	△354	13,288

(注) 1.セグメント利益の調整額△354百万円には、のれんの償却額△572百万円及びセグメント間取引消去217百万円が含まれております。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ロ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額749百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で584百万円、「その他小売事業」で190百万円となり、連結決算における消去・調整で△26百万円となっております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年 4 月22日開催の取締役会決議に基づき、平成23年 4 月25日から平成23年 7 月 4 日までの期間に自己株式1,694千株（取得価額の総額2,999百万円）を取得しております。

このほか、単元未満株式の買取による増加 0 千株や売却による減少 0 千株、ストック・オプションの行使による減少 1 千株があった結果、当第 3 四半期連結累計期間において自己株式が2,995百万円増加し、当第 3 四半期連結会計期間末の自己株式が16,753百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第3四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業	307,914	101.7
卸売事業	16,266	95.7
管理サポート事業	2,330	96.2
合計	326,511	101.3

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第3四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	93,490	104.7
化粧品	114,243	99.5
雑貨	65,109	100.1
食品	34,989	104.3
小計	307,833	101.7
卸売事業	15,935	95.4
合計	323,768	101.4

- (注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。
2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第 3 四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	59,003	105.5
化粧品	82,446	97.7
雑貨	50,146	99.6
食品	31,374	104.9
小計	222,970	101.1
卸売事業	14,834	84.1
合計	237,805	99.9

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。
2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。